

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第102回）に係る面談

2. 日時：令和4年9月7日（水）15時00分～15時40分

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、岩永企画調査官、正岡管理官補佐

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

石川理事、他5名

5. 要旨

- 原子力規制庁から、第102回特定原子力施設監視・評価検討会（9月12日開催予定。以下「検討会」という。）において提示予定の資料を用いて、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）の分析体制の強化やスラリー安定化処理設備に関する審査上の論点などについて原子力規制庁の考え方を説明するとともに、本件に対する東京電力の考え方を検討会において示すよう求めた。

- 東京電力から、検討会において考え方を示せるよう準備する旨の回答があった。

6. 資料

- スラリー安定化諸設備に関する審査上の論点
- ALPS処理水の海洋放出関連設備の設置等に係る御意見に対する考え方への対応状況
- 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉等に必要となる分析体制の強化について